

(様式第4号)

資源循環型施設検討委員会報告会 概要

1 委員会名	資源循環型施設検討委員会報告会
2 日時	令和2年4月21日(火) 午後4時から午後4時38分まで
3 会場	清浄園 2階 大会議室
4 出席者	(学識委員) 高須芳雄副委員長 (地元委員) 宮崎郁男委員、宮島範雄委員、滝沢敏比古委員、足立則男委員、 高遠和秋委員、中島貞介委員、宮下武行委員 (行政委員) 山口泰芳委員、両角功委員
5 行政側出席者	(広域連合) 土屋陽一連合長 (上田市) 井上晴樹副市長 上田地域広域連合及び上田市関係職員
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 報道機関	2社
8 会議概要作成年月日	令和2年4月22日

協議事項等

1 開会（ごみ処理広域化推進室長）

2 委員長あいさつ（委員長代理：高須副委員長）

- ・委員の皆様には、多忙な中で委員会に出席いただき、多くの建設的な御意見をいただいたことを感謝申し上げます。
- ・委員会は、当初の予定を越えて1年以上に渡り全9回開催した。限られた時間の中で真剣な議論を重ね、資源循環型施設の安全・安心とエコロジーのあり方を、とりまとめることができました。
- ・委員会での経過や協議結果を、行政は今後の取組みに十分活かしていただきたい。また、その取組みが、地域の安全・安心、エコロジーを踏まえた地域の発展に繋がることを願っている。

3 協議結果の報告（委員長代理：高須副委員長）

【高須副委員長から土屋連合長へ「資源循環型施設検討委員会の協議結果について」を手渡す。】

- ・資源循環型施設建設事業に伴う、安全・安心な施設のあり方について協議を重ねた。
- ・協議結果1では、資源循環型施設における環境負荷を最小限とするため、行政は引き続きごみの減量化を行うとともに、上田市は生ごみ減量へ向け取組む必要があるとした。
- ・協議結果3では、ダイオキシン類等の有害物質について、発生抑制や除去、監視等の総合的な対策を講じるとともに、科学的データを調査・提示し住民と話し合い、安全・安心を確保するための取組みが必要であるとした。
- ・今後に向けて、地域住民と行政は、資源循環型施設及びまちづくりの計画などを定期的に協議し、委員会の協議結果や意見も十分に踏まえ、取組みを進めていくべきであるとした。
- ・委員会での協議結果が、今後の取組みに大いに活用されることを期待する。

4 広域連合長あいさつ（土屋連合長）

- ・委員の皆様には御多忙のところ、全9回の委員会において、大変活発な御議論をいただいたことに御礼申し上げます。

- ・資源循環型施設検討委員会の協議結果について御報告いただき、大変重く受け止めている。
- ・特にごみ減量については、この検討委員会での協議結果を踏まえ、環境負荷低減のため、ごみの減量・再資源化の取組を強めたい。
- ・委員会の協議結果については、今後における行政の基本方針に反映し、広く上田市民及び圏域住民の皆様にお伝えしたい。今後、その方法について地元の皆さんに御協議をお願いしたいと考えている。
- ・委員会での検討経過及び協議結果を今後の礎とし、地域の皆さんと一緒に議論し、全国に誇れる施設としたい。引き続き、皆様の御理解・御協力をよろしくお願いしたい。

5 懇談

6 閉会（ごみ処理広域化推進室長）